

「教育課程検証のための意識調査」からみた二学期制の成果と課題（案）

＜二学期制の成果の概要＞

- ・児童・生徒の学習意欲を持続させるために長期休業前に担任による面談を行うことで学習の目標をもたせることができた。また、長期休業中には個人の課題に合わせた補充学習を行い、長期休業後にはまとめのテストを行うなどの工夫をして学びの連続性を実現できるようになった（意識調査：小学校教員 44.3%）。
- ・一つの学期が長くなることで、見通しをもった学習を行うことができ、児童と向き合う時間ができた（意識調査：小学校教員 49.4%）。
- ・小学校においては、児童一人一人に対して、きめ細かい指導ができ、多くの評価資料を用いた評価を行うことができた（意識調査：小学校教員 50.6%）。
- ・儀式的行事や定期考査の回数が減ることにより、授業時数がある程度確保することができた（小学校 8 時間程度、中学校 15 時間程度）。

（意識調査の自由記述から）

【教員の意見】

- ・様々な背景により課題が終わらない児童に対し、教師側にも児童側にも時間にゆとりができ、学力補充教室等で指導しやすい。それが一学期の評価に入るのがよい。二学期制の方が児童の評価が積み上がるので、データとして信頼性が高く、根拠のある通知表が作成できて良い。
- ・二学期制の方が生徒と向き合う時間が確保できよと感じている。このまま二学期制を継続してほしい。
- ・通級指導は学期の切れ目は在籍校に戻すので、二学期制の方が通級日を確保しやすく、助かっている。
- ・事務量が多少なりとも減ることがよい。
- ・実技教科では、長期にわたって活動に取り組めるので充実した作品を作ることができ好都合である。
- ・評価の資料が多く、適正な判断ができる。子供のよいところをたくさん見つけられる。
- ・高学年音楽、図工、家庭などの教科では、1，2，3月だけの指導日数では適切な評価が行えない。7月末、12月末も評価、評定に追われず、じっくりと学習できる。
- ・長期休業前に面談や行事を組めるのはよい。学期末の事務処理がないので、授業や研修を実施できる。

【保護者の意見】

- ・通知表での評価が多角的で、先生方がよく見てくれていると感じる。また、夏季休業前に個人面談等で子供の様子を知る機会を設けていること。
- ・第一に良かったのは、先生に余裕ができたこと。子供はいくらでも合わせられる。また、夏季休業前の午前授業が減ったことは助かっている。不安・戸惑いが出るのは親の方だ。
- ・学習期間が長くなることはいい事だと思う。評価も2回で長期間の中で判断してもらえて

いると思う。ただ、子供には少し負担に感じる事もありそうなので、フォローが家でも学校でも必要になってくると思う。

- ・じっくり取り組むタイプの子なので、作品をゆっくり作成したり、一つのことに取り組んだりする時間が多い二学期制の方がよい。短期間で評価されるのは不安だ。
- ・先生と生徒の間に心の触れ合いをするゆとりが生まれるのでいいと思う。子供たちも今のところ楽しく学校に通っている。二学期制に賛同しているようだ。
- ・短縮授業や午前授業が少なくなったことを実感している。結果として授業時数が増えているのであればいいことだと思う。

【学校評議員の意見】

- ・二学期制のメリットは、児童にというより、先生方にあるのではと思う。期間の短い三学期は一人一人細い評価のしようがないように思われる。夏季休業日前までにしっかり授業をして休み中に出来なかったことを個別に修正出来るよう指導が可能ではないか。
- ・二学期制は自分の子供で経験がないので分からないが、大学が二学期制なので続けて行くべきと思う。
- ・私立は二学期制を導入し順調に行われている。情報収集し、見習うこともありではないか。
- ・学びの連続性が確保できている場面が感じられたので。
- ・教育のグローバル化の中、大学の秋入学が考慮されている。また国際相互留学も拡充されようとしている中、就職時期の影響等で実現困難となっている。初等、中等の教育課程において二学期制の充実を図り対処すべきではないか。
- ・二学期制に賛成。とくに中学校では、中間、期末等の考査がひんぱんに行われるとゆとりがなくなってしまう。
- ・先生方の負担軽減になり良いと思う。先生方には学校行事の準備等より、少しでも子供の事を見ていただきたいし、触れ合っていただきたい。
- ・一学期が長くなってきたので、教育計画の立案、その実施ならびに再検討が実施しやすくなってきたと思う。また、評価規準も充実してきたようで達成評価が正確に把握出来るような方向に進んできたように思う。

＜二学期制の課題の概要＞

- ・学校が学期の枠を変えることにとどまることなく、教育課程や具体的指導内容・指導方法の改善を図る。
- ・児童・生徒、保護者および地域に対し、二学期制のメリットについて周知し、開かれた学校づくりや特色ある学校づくり、学校評価の取組と併せて継続的に行う。
- ・学期末、休業日前後の区切りを意識させる。
- ・中学校において、定期考査の回数が減る事による学習意欲の低下や試験範囲の拡大による生徒の負担に対する保護者の不安がある。また、成績が長期休業前に示されないことについて、特に進路選択の場面で不安の声があがっている。

(意識調査の自由記述から)

【教員の意見】

- ・長期休業前に評価をし、休み中に復習をする意欲をもたせたい。中3においては、現状の二学期制の方が教師がとても忙しい。

- ・部活動の大会が他の区市と合わない。
- ・一学期、二学期のけじめがつけられないこと。他の区で三学期制のところがあり、都立、私立問わず、進学システムが三学期制のままなのに、区独自に練馬のみ二学期制では生徒に不平等が生じる。
- ・切り替えが難しく、長期休業明けは特に心身の課題を訴える生徒が多い。メリハリは三学期制のほうがついている。
- ・現行の入試制度（調査書の扱い）が三学期制を前提として設定されているので、入試制度が変わらない限り三学期制に戻した方がよい。
- ・長期的な休暇が入ることで、休暇前に学んだことがうすれ、復習に時間がかかってしまう。実技教科では特に感じる。
- ・定期テストの試験範囲が広がるのが問題である。
- ・行事と連携しておらず、教員としてもやりにくい。
- ・二学期制のメリットを生かすには、大きな行事の配列を再考しなければならないが、それが保護者や地域の方々にご理解してもらっていない。二学期制になっていることや、そのメリットなどをもっと区から住民に発信すべきだと考える。
- ・二学期制への実施については現場に直接かかわる教員側の意識や認識に大きく左右されると思う。したがって教師側の研修、研究を十分にやり、効果的な教育の充実に結び付ける必要があると思う。

【保護者の意見】

- ・二学期制は高校受験を控えて中学三年生にとっては不利な制度のように感じる。評価される機会が減り三学期制の学校と比較すると悪い面が多い。私立高校は内申で併願優遇されるので保護者としても夏休み（一学期）の成績が出ないと不安だ。
- ・三学期制で学生時代を過ごした我々の世代は、二学期制に抵抗がある。長期休業前に通知表をもらうことで、生活、学習にメリハリができ、新学期への目標が立てやすいと考える。
- ・中学校において、運動部活動の大会試合と定期テストの時期が重なるので困る。都内全ての中学校が二学期制に統一されておらず、大会は三期制の名残のままだから、とのことなので、今後改善が必要かと思う。
- ・希望は三学期制である。中学生は定期テストの範囲が広いと困るし、長期休業が区切りの方が気持ち的にも違う気がする。
- ・長期休業前にしっかりと振り返り、夏休みを有効に使い、また長期休業後から新学期という気持ちの方がやる気スイッチを入れる回数を増やすことができると思う。
- ・夏休み、冬休み前に通知表などがいただけないと弱点や不得意教科の見直し、復習が長期の休みを使って行うことができない。
- ・私立高校への個別相談を行った際に、練馬区をはじめ二学期制の生徒は2学年の成績を持参することになる。不利にならないというが、不安である。
- ・転入してきたため、二学期制のよさがいまひとつよくわからない。良さはあると思うが、それが伝わって来ない。親としても、子供にどのように接すると二学期制のよさがあらわれるのかをぜひアドバイスしてほしい。できるだけ早い機会に。

【学校評議員の意見】

- ・強制的に勉強させている状態（義務ですから）、学期が細かく分かれ、達成度の確認する回数が多い方が遅れている事に気がつきやすいと思う。
- ・日本の気候、風土にあった三学期制がよい。三学期制は日本の伝統文化と思う。

- ・教師として学習効果を判定するのに、年3回のチャンスをもたらった方がよいのでは？と憶測する。他の手段でチャンスがあるというなら年2回でもよい。
- ・未だ学年が低い小学校では季節ごとの学期が（三学期制）ふさわしいと思う。
- ・中間、期末テストが減ることによって、真剣に勉強する期間と時間が少なくなると思う。
- ・中学校は3年という短い期間しかないので細かい対応が必要。よって三学期制の方が好ましいと思われる。
- ・一つの学期が長くなることで学習の理解度（評価）が遅くなる。三学期制であれば評価が早くわかるので、課題を早く見出して長期休業で計画的に補うことができる。
- ・中学校では定期テストの前に子供たちの勉強する範囲が広くて大変である。普段から勉強すればよいのだが、現実にはテスト前にしか勉強しないので機会を増やすのが良いと思う。
- ・二学期制になってから 教育通知に対する学校側から保護者・児童への対応がより細くなっていない様に感じる。何が具体的に改善されているか保護者的には全くわからない。
- ・夏休みが入ってしまう為、学びの連続性が保たれるとは思わない。休み前の面談で子供の様子が分かるとのことだが、実際に面談があるのは6月終わりである。
- ・学びの連続性と言っているが、年間計画できちんと遂行することであり、学校生活にメリハリが、薄い感じである。又、教師の仕事量は改善されているか疑問である。

<その他の意見>

- ・二学期制、三学期制のそれぞれのメリット・デメリット（子供や保護者にとって）をもっと明確にしてほしい。具体的な例などを挙げ、判断材料が必要だと思う。中学校に関しては内申点の問題もあるので、慎重に議論を進めていただきたい。（保護者）
- ・教員にゆとりが出来ると子供たちと向き合う時間が長くなるのは賛成だが、本当にゆとりができているのか？ゆとりができた分、子供と向き合っているかは、保護者から見てもよくわからない。（保護者）
- ・二学期制でも三学期制でも親は問題ない。先生方の負担を考えてほしい。親の意見は大切だが、聞き過ぎるのはどうか。義務教育はサービス業ではない。（保護者）
- ・二学期制の趣旨を、保護者や評議員へ発信及び評価を伝える事も必要ではないか。（学校評議員）
- ・三学期制よりも二学期制の方が、先生方の負担が実際に減っているのかどうなのか、先生方の意見もぜひ伺いたい。（学校評議員）